



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澄田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,733	△18.1	601	△32.6	679	△29.9	385	△26.7
24年3月期第2四半期	13,098	1.4	892	29.8	969	42.6	526	91.4

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 330百万円 (△37.9%) 24年3月期第2四半期 532百万円 (216.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	22.05	21.70
24年3月期第2四半期	30.08	29.73

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,948		22,503			79.2
24年3月期	27,042		22,261			81.1

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 22,137百万円 24年3月期 21,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△16.6	850	△45.3	950	△43.6	450	△39.6	25.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	18,218,901 株	24年3月期	18,218,901 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	715,359 株	24年3月期	715,245 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	17,503,572 株	24年3月期2Q	17,497,463 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては平成24年11月8日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、欧州債務危機に伴う海外経済の減速、長期化する円高による国内景気の減速懸念など、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末（多機能携帯端末）などのモバイルコンピューティング関連が引き続き堅調であったものの、テレビ関連は地デジ化移行特需の反動から回復するには至らず、消費マインドの低迷によりパソコン関連も減速傾向がみられるなど、全体としては厳しい環境となりました。また、このような最終製品市場の状況を背景に、国内半導体メーカーの設備投資も低調に推移いたしました。

その結果、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高107億33百万円（前年同期比18.1%減）、営業利益6億1百万円（同32.6%減）、経常利益6億79百万円（同29.9%減）、四半期純利益3億85百万円（同26.7%減）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、仕入先・顧客など取引先との関係強化及び新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。また、平成24年7月には新製品の開発・新規事業展開を図ることを目的として、画像処理関連の高い技術力を有する株式会社レグラスを子会社化いたしました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、他社製品からの移行及び長期契約の更新が順調に進んだことなどにより、概ね堅調に推移いたしました。自社製テストシステムは、海外向けは伸長しているものの、国内半導体メーカーの設備需要が一巡したため、売上高は減少いたしました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、売上高は堅調に推移し、開発効率も向上いたしました。

その結果、当事業の売上高は55億80百万円（同13.6%減）、セグメント利益は7億20百万円（同30.3%減）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に努めてまいりました。ハードディスク部門は、OA・FA市場の低迷に加え一部モデルの供給終了により、売上高が大きく落込みました。デバイス部門は、自社製組み込み用途向けCPUボードが好調に推移したものの、競争激化によるデジタルテレビの価格下落及び需要減などによりHDMIチップの売上高が減少いたしました。また、レーザーダイオードドライバについては、海外顧客の在庫調整が一段落したものの、前年同期実績を上回るまでには至りませんでした。アイティアアクセス株式会社は、受託開発は順調に推移したものの、組み込みソフトウェア及びデジタル家電向けライセンス販売において国内デジタルテレビの需要一巡により低迷したため、前年同期実績には及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は51億52百万円（同22.4%減）、セグメント利益は50百万円（同26.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、279億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億5百万円増加しております。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したものの、商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は54億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億62百万円増加しております。これは主に、未払法人税等が減少したものの、買掛金や賞与引当金が増加したことなどによるものであります。

純資産は225億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億42百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は79.2%となり、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント低下しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、8億59百万円の減少（前年同期は68百万円の減少）となりました。これは、営業活動によって2億52百万円、投資活動によって4億67百万円、財務活動によって1億47百万円を使用したためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果使用した資金は、2億52百万円（前年同期は11億66百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を6億79百万円計上したほか、売上債権が14億51百万円減少し、仕入債務が5億35百万円増加したものの、たな卸資産及び前渡金が29億50百万円増加したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、4億67百万円（前年同期比419.6%増）となりました。これは主に、保険積立金の積立に1億41百万円、投資有価証券の取得に1億20百万円、子会社の株式の取得に1億16百万円を支出したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、1億47百万円（同87.1%減）となりました。これは主に、配当金の支払いに1億21百万円を支出したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年5月11日に公表しました平成25年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成24年11月8日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第2四半期連結会計期間より、株式会社レグラスの株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,470,444	2,311,033
受取手形及び売掛金	8,533,083	7,267,424
有価証券	—	300,000
商品及び製品	1,185,209	4,465,988
その他	2,085,000	1,611,376
貸倒引当金	△1,151	△985
流動資産合計	15,272,585	15,954,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,690,139	7,695,278
減価償却累計額	△3,449,846	△3,522,991
建物及び構築物（純額）	4,240,292	4,172,286
土地	5,668,131	5,668,131
その他	741,453	792,990
減価償却累計額	△493,494	△534,152
その他（純額）	247,959	258,837
有形固定資産合計	10,156,383	10,099,256
無形固定資産		
のれん	84,535	157,740
その他	168,484	151,672
無形固定資産合計	253,020	309,412
投資その他の資産		
投資有価証券	682,454	696,493
その他	686,246	896,085
貸倒引当金	△7,697	△7,928
投資その他の資産合計	1,361,002	1,584,650
固定資産合計	11,770,406	11,993,319
資産合計	27,042,992	27,948,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,865,989	2,444,151
未払法人税等	697,022	302,304
賞与引当金	—	68,131
役員賞与引当金	—	12,100
その他	1,699,299	2,086,612
流動負債合計	4,262,311	4,913,300
固定負債		
退職給付引当金	284,022	303,920
役員退職慰労引当金	37,050	53,309
その他	198,208	173,674
固定負債合計	519,280	530,905
負債合計	4,781,592	5,444,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,320,858	7,320,858
利益剰余金	4,395,430	4,658,820
自己株式	△282,956	△283,010
株主資本合計	21,950,491	22,213,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,487	△3,069
繰延ヘッジ損益	△7,076	19,978
為替換算調整勘定	△71,955	△93,351
その他の包括利益累計額合計	△14,543	△76,442
新株予約権	137,543	172,000
少数株主持分	187,908	194,565
純資産合計	22,261,400	22,503,950
負債純資産合計	27,042,992	27,948,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,098,391	10,733,413
売上原価	9,811,634	7,727,752
売上総利益	3,286,757	3,005,660
販売費及び一般管理費	2,394,334	2,404,325
営業利益	892,422	601,335
営業外収益		
不動産賃貸料	212,751	213,918
その他	31,609	39,797
営業外収益合計	244,361	253,716
営業外費用		
不動産賃貸費用	164,499	162,863
その他	3,111	12,908
営業外費用合計	167,610	175,772
経常利益	969,173	679,279
特別利益		
退職給付制度終了益	49,359	—
その他	46	—
特別利益合計	49,405	—
特別損失		
投資有価証券売却損	3,562	—
その他	790	—
特別損失合計	4,352	—
税金等調整前四半期純利益	1,014,226	679,279
法人税等	478,682	286,706
少数株主損益調整前四半期純利益	535,544	392,572
少数株主利益	9,280	6,656
四半期純利益	526,263	385,915

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	535,544	392,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,920	△67,557
繰延ヘッジ損益	20,939	27,054
為替換算調整勘定	5,231	△21,396
その他の包括利益合計	△2,749	△61,899
四半期包括利益	532,794	330,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523,514	324,016
少数株主に係る四半期包括利益	9,280	6,656

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,014,226	679,279
減価償却費	154,240	166,910
のれん償却額	89,199	17,099
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,552	△256
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19,484	19,898
受取利息及び受取配当金	△4,650	△4,933
売上債権の増減額 (△は増加)	△81,701	1,451,560
たな卸資産及び前渡金の増減額 (△は増加)	△301,221	△2,950,466
仕入債務の増減額 (△は減少)	451,760	535,231
前受金の増減額 (△は減少)	199,010	515,244
その他	49,983	△203,181
小計	1,549,809	226,385
利息及び配当金の受取額	4,650	4,252
利息の支払額	△65	△278
法人税等の支払額	△388,317	△483,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,166,076	△252,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	300,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△16,358	△36,688
無形固定資産の取得による支出	△60,667	△27,425
長期前払費用の取得による支出	△73,929	△58,880
投資有価証券の取得による支出	—	△120,300
投資有価証券の売却による収入	42,048	26,801
保険積立金の積立による支出	△7,521	△141,789
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△116,760
その他	26,417	7,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,012	△467,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000,000	—
配当金の支払額	△138,402	△121,580
少数株主への配当金の支払額	△581	—
その他	△2,016	△26,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,141,000	△147,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,039	8,698
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△68,975	△859,410
現金及び現金同等物の期首残高	2,950,942	2,970,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,881,967	2,111,033

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,456,037	6,642,354	13,098,391	—	13,098,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,060	—	11,060	△11,060	—
計	6,467,097	6,642,354	13,109,452	△11,060	13,098,391
セグメント利益	1,032,952	68,539	1,101,491	△209,069	892,422

(注) 1. セグメント利益の調整額△209,069千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△208,864千円及び棚卸資産の調整額△204千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,580,762	5,152,650	10,733,413	—	10,733,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,580,762	5,152,650	10,733,413	—	10,733,413
セグメント利益	720,282	50,594	770,877	△169,542	601,335

(注) 1. セグメント利益の調整額△169,542千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,724千円及び棚卸資産の調整額182千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。